2023 年度　日本結晶学会　第 2 回評議員会　議事概要

日時：2023 年 7 月 15 日　14:00 ~ 16:40
形式：東大での対面と Zoom によるオンライン会議のハイブリッド形式
出席者：五十嵐教之[a,z], 井上 豪[a,z], 海野昌喜[a]（庶務幹事）, 大原高志[a], 河野正規[a,z], 小島優子[a,z], 小松一生（監査役）[a], 坂田修身[a,z], 菅原洋子[a], 杉本邦久（広報幹事）[a], 千田俊哉[a,z], 千田美紀[a,z], 藤間祥子[a], 中川敦史（会長）[a,z], 中塚晃彦[a,z]（編集幹事）, 南後恵理子[a,z], 禾 晃和（会計幹事）[a,z], 橋爪大輔（行事幹事）[a], 濵田麻希[z]（男女共同参画幹事）, 宮原郁子[a], 森吉千佳子[a], 姚 閔[a,z], 山縣ゆり子[z]（監査役）, 山田悠介（情報幹事）, 山本雅貴[a,z]
委任状出席者※：植草秀裕[a], 尾関智二[a], 上村みどり[a], 熊坂崇[a], 栗栖源嗣[a], 関根あき子[a], 平田邦生[a], 藤井孝太郎[a]
オブザーバー参加：杉山和正[z]（次期会長候補）
議長：中川敦史[a,z]（会長）
議事録作成者：海野昌喜[a,z]（庶務幹事）
※2023 年度第 2 回評議員会（定数 30　構成員は[a]で表記、Zoom 参加は[z]で表記）：
出席 25, 委任状出席 8, 欠席 0
オブザーバー参加 1
（途中入退室を含む。五十音順、敬称略）

東京大学での対面会議と Zoom によるオンライン会議併用のハイブリッド形式にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認した。上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として海野昌喜評議員が選出された。

議事

報告事項

1.　幹事報告

1-1.　庶務幹事報告　（海野庶務幹事）

2023 年 3 月 16 日から 2023 年 7 月 10 日までの会員異動状況が報告された。2023 年 7 月 10 日現在の会員数は 1015（個人会員 996 名、賛助会員 19 社）である。入会者 11 名の入会申込書および会費滞納者のリストを、パスワードを付けてダウンロード・編集ができない設定にして Google Drive で評議員に共有した。共催・協賛依頼について、11 件の協賛依頼、1 件の共催依頼が報告された。

1-2.　会計幹事報告　（海野庶務幹事（禾会計幹事の代理））

一般会計について、2022 年度の決算報告と 2023 年度の予算（いずれも承認済み）が説明された。会費値上げや年間会誌発行数削減によって黒字を維持しているが、会費収入や購読料収入の減少が続いていることが報告された。

1-3.　編集幹事報告　（中塚編集幹事）

発行済みの学会誌 Vol. 65 の 2 号について報告があった。また、Vol.65 の 3 号について、8 月末の発行に向けて順調に準備が進んでいる旨の報告があった。さらに、会員から提案があった電子版の学会誌のセキュリティーの設定変更について、編集委員会で議論することが報告された。

1-4.　行事幹事報告　（橋爪行事幹事）

対称性・群論トレーニングコースの実施状況について説明があった。また、2023, 2024 年度の年会の計画について説明があった。今年度は宇部市文化会館と山口大学で行われ、前日に年会実行委員会主催のサテライトワークショップが計画されていること、年会では公募により企画されたシンポジウムが 5 件行われること等が説明された。また、企画 CrSJ Keynotes の実施の報告と今後の予定について説明があった。

1-5.　情報幹事報告　（山田情報幹事）

結晶学会 HP の更新（記事の掲載、役員の更新、リンク切れへの対応）とアクセス数の分析について報告があった。また、一般社団法人 化学情報協会の総会が 2020 年以降初めて対面にて開催され、委任状出席したことが報告された。

1-6.　広報幹事報告　（杉本広報幹事）

メール配信について報告があった。

1-7.　男女共同参画推進幹事報告　（濵田男女共同参画推進幹事）

男女共同参画協会連絡会の活動報告があった。また、年会男女共同参画委員会の企画について説明があった。

2.　AsCA 関連　（小松監査役（AsCA 評議員））

小松監査役より AsCA、IUCr の会議予定について報告があった。

3.　日本学術会議関連　（菅原評議員）

3-1.　IUCr 分科会に関連する報告があった。プログラムがオープンになっていることと各賞の受賞者が紹介された。また、General Assembly が 8 月 23 日、24 日、27 日に開催される予定であることと日本からの参加者や Agenda についての説明があった。さらに、Executive Committee のメンバーの交代についての説明があった。

3-2.　結晶学分科会関連について報告があった。IYBSSD2022（持続可能な発展ための国際基礎科学年）に関連して、公開シンポジウムが開催されたことと結晶学会の負担金は無かったことが報告された。総合討論には高校生が参加し、意欲的に活発な議論が行われたことが紹介された。また、その公開シンポジウムの

事後アンケートの結果の一部が紹介された。

3-3. 日本学術会議の動向について、内閣府による「日本学術会議の在り方について」の公表後の経緯について説明があった。日本結晶学会からも本年 4 月以降に 2 回声明を出したことも報告された。今期の国会への法案提出は見送られたことが報告されたが、有識者懇談会が設置されたことなど、今後の動きに注視していく必要があることが述べられた。学術会議は 2023 年 10 月 1 日に第 26 期が開始することが説明された。

4. **個人情報の取り扱いについて**

海野庶務幹事より、今まで掲載していた入会者・退会者・強制退会者を学会誌には今後掲載しない旨、幹事会で決定したことが説明・報告された。

5. **IUCr2023 の参加助成について**

禾会計幹事から、助成の対象者は 2023 年 4 月 1 日時点で 38 歳未満かつ学会員であることが条件であったことが報告された。

審議事項

1. **会員異動について**

入会 11 件は、数名について入会申込書の不備部分の修正を求める条件付きではあるが満場一致で認められた。また、2 年前の年会時に会員になったつもりでいたが手続きに行き違があって名簿に記載されていなかった者について、入会申込書を提出することで 2 年前から会員であるということを認めることになった。

2. **協賛・共催等依頼について**

協賛 11 件、共催 1 件の依頼について、満場一致で認められた。

3. **2023 年度学会賞について**

中川会長から、西川賞 1 件、学術賞 1 件（2 件の推薦）、進歩賞 1 件について、学会賞選考委員会が開かれたことが報告され、受賞理由・題目とともに以下の受賞候補者が一人一人推薦され、満場一致で承認された。

西川賞：石川　哲也　会員「SPring-8 から SACLA まで、超高輝度放射光源施設の実現と新次元の光学系の開発による結晶学の革新」

学術賞：藤橋　雅宏　会員「結晶構造を基盤とした酵素反応機構の解明ならびに新規酵素の探索と創成」

進歩賞：高山　裕貴　会員「マルチショット・コヒーレント X 線回折イメージングの開発と実用化」

なお、各賞の推薦理由書については，評議員会終了後文面の修正を行い、推薦者に送られる予定である。

4. **求人情報のメール配信等について**

海野庶務幹事から、民間企業の求人のメーリングリストでのお知らせについて、昨年度

に会員から問題を指摘するメールが来たことについての報告があり、今後のルールについて議論された。その結果ルールとして以下の事項が決定した。

4-1. 賛助会員は、求人情報の日本結晶学会の HP への掲載も会員向けのメール配信も可能。特に回数の制限は設けない。

4-2. 民間企業が求人情報を日本結晶学会の HP へ掲載もしくは会員向けのメール配信を行うには、賛助会員になるか 1 件（HP 掲載・メール配信はそれぞれ 1 件としてカウントする）につき 2 万円を支払うこと。掲載・配信の依頼は評議員を通すこと。

これらのルールについては日本結晶学会 HP 等に明記することが確認された。

5. 業務委託について

禾会計幹事から、2017 年に廃止した業務委託について報告があり、いくつかの業務や他の業務について委託したほうが良いのではないかということが問題提起された。審議の結果、年会発表登録者の会員資格（発表資格）の照合を事務局に委託することが承認された。また、その他に委託するべき業務があれば幹事会あるいは禾会計幹事に提案し、第 3 回の評議員会で議論することが告げられた。

6. その他

井上評議員（日本学術会議 IUCr 分科会委員）より、IUCr の 2023 年度分担金について、日本学術会議から払われた旨報告があった。

7. 次回評議員会日程について

海野庶務幹事より、次回の評議員会は 10 月 26 日（木）16:30 – 19:00 に年会会場（宇部市文化会館第一研修室）で行う予定であることが告げられた。詳細は評議員にメール等で告知される。